

「平成24年度コンプライアンス推進計画」の取組状況について

□ 内は「平成24年度独立行政法人農業者年金基金コンプライアンス推進計画」

○ 各室部におけるコンプライアンス推進の取組**1 各室部におけるコンプライアンス推進の取組**

各室部業務におけるコンプライアンスに対する職員の意識向上を図るため、管理職は、職員との業務打ち合わせ等の際に、コンプライアンスの重要性についての啓発を図ることとする。

管理職は、業務打合せ等様々な場面において職員に対するコンプライアンスの啓発を図るための取組みを行うとともに、更なる適正な業務執行の確保の観点から、マニュアルの整備等を行っている。

○ コンプライアンス推進計画の項目に基づく研修の実施**2 コンプライアンス推進に関する全体研修会の実施**

コンプライアンスや個人情報保護に関する理解と認識を深めるため、外部講師等による研修会を開催する。

全体研修会の実施については、次のとおり実施している。

- ・個人情報保護管理研修 10月26日
- ・倫理研修 12月25日

3 新任者コンプライアンス研修の実施

基金におけるコンプライアンス遵守事項等を集約したコンプライアンスハンドブックに基づく研修を、基金採用者に対して速やかに実施する。

新任採用職員を対象とした研修については、次のとおり実施した。

- ・4月1日までの採用者（対象者12名） 4月9日・10日
- ・10月1日までの採用者（対象者4名） 10月4日・5日

4 情報セキュリティ対策の充実

基金におけるコンプライアンス確保において重要性が高い情報セキュリティ水準の向上を図る観点から、関係規定の見直し、研修を実施する。

規程の見直しについては、「情報セキュリティの確保に関する規程細則」別表（第2条の情報システム並びにその情報システムを管理する情報システム管理者及び情報システム担当者）の改正を行い、12月1日から施行した。

また、研修については、C I O補佐官を講師に、11月19日・20日に実施した。

○ 内部監査の充実

5 内部監査の実施

内部監査の実施に当たっては、業務運営におけるコンプライアンスの推進の視点を含め引き続き監査を実施する。

内部監査については、保有個人情報の管理等に関する監査を9月に実施したほか、コンプライアンスの推進及び文書管理等に関する監査を2月に実施した。

○ 危機管理の徹底

6 危機管理の徹底

コンプライアンス事案が発生した場合には、役員の指示の下、速やかに事実関係を確認し、適切に対処するとともに、再発防止策を検討・実施する。

内部検証により発覚した支払保留の解除漏れ事案について、理事長の指示を受け、早期に対策本部を設置し、対象者の調査、原因究明及び検証、再発防止策の検討を行い、適切に対処するとともに、職員に対し、再発防止策の徹底を指示した。

○ 適切な情報提供等

7 コンプライアンスに関する情報の提供

コンプライアンスに対する理解を深めるため、コンプライアンスに関する事例、倫理規程等を役職員が閲覧可能なフォーラムに掲載するなど関連情報の提供を積極的に行う。

役職員に対して「各種研修資料」、「コンプライアンスハンドブック」、「出張時における役職員の倫理に係る留意事項について」などについて、フォーラムに掲載して関連情報の提供を行っている。

8 コンプライアンスに関する情報の公開

基金のコンプライアンスに関する情報公開を進めるため、コンプライアンスに係る推進計画、コンプライアンスの推進のために講じた措置についてホームページで公表する。

コンプライアンス推進計画の取組状況については、委員会開催の都度速やかにホームページに掲載し、情報公開を行っている。

平成25年度独立行政法人農業者年金基金コンプライアンス推進計画（案）

平成25年3月22日

独立行政法人農業者年金基金（以下、「基金」という。）におけるコンプライアンスのより一層の推進を図るため、平成25年度については、以下の取組を行うものとする。

1 各室部におけるコンプライアンス推進の取組

各室部業務におけるコンプライアンスに対する職員の意識向上を図るため、管理職は、職員との業務打ち合わせ等の際に、コンプライアンスの重要性についての啓発を図ることとする。

2 コンプライアンス推進に関する全体研修会の実施

コンプライアンスや個人情報保護に関する理解と認識を深めるため、外部講師等による研修会を開催する。

3 新任者コンプライアンス研修の実施

基金におけるコンプライアンス遵守事項等を集約したコンプライアンスハンドブックに基づく研修を、基金採用者に対して速やかに実施する。

4 情報セキュリティ対策の充実

基金におけるコンプライアンス確保において重要性が高い情報セキュリティ水準の向上を図る観点から、関係規定の見直し、研修を実施する。

5 内部監査の実施

内部監査の実施に当たっては、業務運営におけるコンプライアンスの推進の視点を含め引き続き監査を実施する。

6 危機管理の徹底

コンプライアンス事案が発生した場合には、役員の指示の下、速やかに事実関係を確認し、適切に対処するとともに、再発防止策を検討・実施する。

7 コンプライアンスに関する情報の提供

コンプライアンスに対する理解を深めるため、コンプライアンスに関する事例、倫理規程等を役職員が閲覧可能なフォーラムに掲載するなど関連情報の提供を積極的に行う。

8 コンプライアンスに関する情報の公開

基金のコンプライアンスに関する情報公開を進めるため、コンプライアンスに係る推進計画、コンプライアンスの推進のために講じた措置についてホームページで公表する。

